

同窓生

明泉での経験が大きな支えに
～英語の学習を頑張っている後輩のみなさんへ～

明泉デーのお昼時間

弦楽器アーティストとのコンサート

佐藤 ひなの (Kim) 丸山フレンドクラブ41 回生

こんにちは。ピアニストとして活動しております、佐藤ひなのです。
3歳でピアノを始めた私は、現在大学院で音楽を専門に学びながら、演奏会の企画・出演、また後進の指導にも力を入れています。幼少期から英語にも親しんでいましたが、その原点は間違いなく明泉にあります。
明泉での時間はどれも楽しく、先生方はいつも親切で、英語だけでなく私の活動を温かく応援してくださいました。中学時代には高円宮杯全日本中学校英語弁論大会にて、「Can a pianist influence the world?」というスピーチを作成し、発表しました。当時、南スーダンの飢饉や教育格差について調べる中で、「ピアニストである自分に何ができるか?」と自問しながら、音楽と国際課題を結びつけたスピーチでした。原稿を添削してくださった先生方や、練習につき合ってください

写真中央がひなのさん

オーストラリア

短期留学報告

この夏休み、プレミアの中学生5名が約3週間、ハイスクールの高校生5名が約1ヶ月間、オーストラリアに短期留学しました。英語のインプット&アウトプットを実践しながら、現地の文化やライフスタイルに触れてどんなことを感じたのでしょうか。

高橋 七星 (高森ハイスクール10年 Gina)

学校のみならずもらった手紙は宝物です。別れの中で一番印象に残っているのは、私が「See you」と言ったら友達で「また会う機会が絶対あるから“See you later”と言うんだよ」と言ってくれたことです。
1ヶ月という長いようで短い時間しかステイしていないのに、こんなに情を持って接してくれたんだと思って涙があふれました。

水野 すずな (丸山ハイスクール10年 Cindy)

現地の人々の生活から多くのことを学びました。彼らは日々余裕を持ち、家族や友人との時間を大切に、どんな時でも楽しもうとする姿がとても魅力的でした。そんな生活の中で、例えば日本では多機能な便利グッズがたくさんあるのに対し、オーストラリアではそれぞれの場面で専用の道具を用意しなければならないなどの違いがありましたが、それが当たり前なので誰も不便そうにしないことが印象的でした。むしろ、身の回りのものを工夫して使い、生活を豊かにしているその応用力に感心しました。

Bible verse

人とは何ものなのでしょう。あなたが心に留められるとは。
人の子とはいったい何ものなのでしょう。あなたが願みてくださるとは。
あなたは人を御使い（天使）よりわずかに欠けがあるものとし、これに栄光と誉れの冠をかぶらせてくださいました。
あなたの御手のわざを人に治めさせ、万物を彼の足の下に置かれました。

詩篇8篇4-6節

私たちの心を守る聖書の教え

4 自分の存在の意義について

このシリーズでは、私たちの心を守ってくれる聖書の教えについて考えています。
今回は、「自分の存在の意義」や「アイデンティティ」について、聖書の視点から考えてみたいと思います。

自分は何のために存在しているのか？

皆さんは、自分が何のために存在しているのか、自分のいのちにはどんな意味があるのか、考えたことがありますか？ 聖書によると、人間は神様のかたちに造られたとあります。

神はまた言われた、「われわれのかたちに、われわれにかたどって人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとを治めさせよう」。神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。
——創世記 1:26-27（口語訳）

神様は宇宙と地球上のすべてのものを造られたあと、創造物の中でもっとも尊い存在として人間を造られました。すべての人間は神の姿を映しており、それによって一人ひとりに固有の価値と尊厳が与えられているのです。

すべての人間には価値がある

次の詩篇の言葉からも、受胎の瞬間から、神様が一人ひとりを深く知り、価値ある存在として見ておられることがわかります。

あなたこそ私の内臓を造り、母の胎の内で私を組み立てられた方です。私は感謝します。あなたは私に奇しいことをなさせて、恐ろしいほどです。私のたましいはそれをよく知っています。あなたの目は胎児の私を見られ、あなたの書物にすべてが記されました。私のために作られた日々が、しかもその一日もないうちに。
——詩篇 139:13,14,16

私たちは、誰かにとって意味のある存在でありたい、人生に目的や喜びを見出したいと願っています。そうした思いは、私たちが本来持っている価値や役割を知ること、より深く満たされていきます。聖書は、人間がただ生きるだけでなく、愛され、つながりを持ち、与えられた賜物によって役割を果たす存在として造られたと語っています。神様との関係の中でこそ、自分の存在の意味を見つけ、心からの平安と喜びを得ることができるのです。

人間の墮落と神の救い

最初の人間（アダムとエバ）は、罪のない者として造られ、神様と直接会話し、喜びと幸せの中で生きていました。しかし、悪魔の誘惑により神様に逆らってしまい、そこから罪と死が世界に入り込んだのです。

このようなわけで、ひとりの人によって、罪がこの世にはいり、また罪によって死がはいってきたように、こうして、すべての人が罪を犯したので、死が全人類にはいり込んだのである。
——ローマ人への手紙 5:12（口語訳）

その結果、世界は不義や不正、争いに満ちた場所となってしまいました。人間は神様から離れ、心が暗くなり、自分の存在の意義を見失ってしまったのです。そして、人には一度死ぬことと、その後にかきを受けることが定められています。しかし、神様は私たちを愛し、ひとり子イエス・キリストをこの世に遣わされました。イエス様は私たちの罪の責任を負い、十字架で身代わりとなって死んでくださいました。

罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。
——ローマ人への手紙 6:23

十字架の愛と回復の道

悪魔（サタン）は人間と神様の関係を壊し、人間を自分と同じ滅びへと導こうとしますが、神様は救いの道を備えてくださいました。

聖書

せいじよ

friends フレンズ

「読む」とつながる。「読む」とひろがる。

発行日:2025年10月29日

発行:宮城明泉学園 www.meysen.ac.jp

Friends Newsletterは年に4回、カンガルークラブからハイスクール、同窓生などに関するニュースをお届けする学園ニュースレターで、明泉サイトでも公開しています。

本紙で引用している聖書は、以下の聖書によります。聖書 新改訳 © 新日本聖書刊行会

friends フレンズ

「読む」とつながる。「読む」とひろがる。 Autumn 2025

MeySen Newsletter No.212

キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。
あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰った。
——ペテロの手紙第一 2:24-25

イエス様は、深い愛と犠牲をとおして私たちの罪を個人的に引き受けてくださいました。十字架は単なる赦しではなく、新しい生き方への招きです。罪から離れ、神の正しさに生きることが求められています。
イエスの「打ち傷」によって、私たちは罪の赦しからくる平安と永遠のいのちの希望を持つ者とされ、霊的に癒され、少しずつ変えられていくのです。私たちは皆、迷っていた羊のように道を外れていましたが、羊飼いであるイエス様が私たちを探し出し、創造主である神様のもとに戻してくださったのです。そして、イエス様は私たちを天国に至るまで導き、守り、世話してくださいます。

結びに

みなさん一人ひとりが、神様に立ち返り、信仰と信頼を通して、自分のいのちの意義と価値を知り、喜びをもって神様から与えられた人生を歩んでいかれることを心から願っています。どうか、自己中心な生き方ではなく、神様に喜ばれ、天に宝を積み人生を歩んでください。

Good Times! Big Smiles!!

MeySen



ここ数年は夏の暑さが長引き、日本の美しい秋の風景を見られる期間が短くなっています。5年後、10年後はどうでしょうか。高く青い空、色を変え葉を落として冬支度を始める樹々、ふと気づくキンモクセイの香りなど、今しか感じられない秋に心を向けてみてください。

たき火

いもほり

ジャンボリー

父親参観

フレンド4年
日帰り旅行

フレンド6年・プリミアG6
東京旅行

RRRRR

明泉生が今年度も活躍しました

第14回 ウルスラ英智イングリッシュコンテスト

- ★ グランプリ「ウルスラ英智賞」
Show & Tellの部
丸山フレンドクラブ3年 千葉 愛莉咲 (Allie)
- ★ 暗唱の部A 最優秀賞 丸山年長 佐藤 夏向
- ★ 暗唱の部A 優秀賞 丸山年長 五十嵐 咲穂

高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論大会

- ★ 仙台市予選大会
最優秀賞、併せて市教育長賞を受賞
- ★ 宮城県予選大会
最優秀賞、併せて県教育長賞・読売新聞社賞を受賞
- 丸山プリミアG9 今野 晴喜 (Harry)

11月26日・27日に東京で開催される
決勝予選大会での健闘を心から祈っています！

提携校の高校生がシアトルから来仙

明泉生の家族がホストファミリーに

プリミアG5シアトル研修旅行の学校体験(2012年～)を毎年受け入れてくださっているキングススクールから、高校生14名が7月に仙台を訪れ、明泉生のご家庭で3泊4日のホームステイを体験しました。
日本人の日常生活や中学・高校での授業を体験した感想を2人の生徒に聞いてみました。

ホームステイが一番の思い出

日本へのこの旅行はまたとない機会で、中でも日本人の家庭に滞在できたことが最高の経験となりました。日本の文化をこの目で見ることで、2年間学んできた日本語の実践にもなりました。今年3月に私の家にホームステイしたRandy(丸山プリミアG6 鈴木隆之介君)やMax(同G6 市川大貴君)と再会できたのも、とてもうれしかったです。
ホストファミリーは私がくつろいで過ごせるよう気にかけて、私のことを知ろうと話を聞いてくれました。いろいろなレストランに一緒に行き、アメリカでは食べることのできない和食にトライしたり、Randyのお兄さん(同G9 洗太郎君)が通っている中学校で学校生活も体験できました。
また、丸山キャンパスと高森キャンパスでいろいろな学年の生徒と交流しながら、授業や遊び時間を見学しました。私が190センチもある

せいかな、行く先々で「身長どれくらい?」と何度も聞かれ、そのたびに思わず笑ってしまいました。日本で私に合うズボンを買うのはすごく難しそうです。
私の妹は、来年から日本語を勉強するつもりです。妹が私と同じようにすばらしい経験ができるよう、キングススクールの先生たちがこの日本への旅行をまた実施してくれることを願っています。
鈴木ファミリーの皆さん、私のホームステイをかなえてくださって本当にありがとうございました。とても楽しく過ごせました。ぜひまたお会いしましょう。

ジャック・ホスキンソン (Jack Hoskinson)

言葉以外によるコミュニケーションでも大きな発見

ホームステイの経験がなく、仙台に到着してすぐは緊張していましたが、ホストファミリーの早坂莉央奈さん(丸山プリミアG10 Susie)、莉里香さん(同G6 Judy)、そしてご両親が本当に優しい方たちで、仙台ですばらしい時間を過ごすことができました。
ホストマザーとホストファーザーとはあまり英語で話しませんでしたが、言葉以外の手段で心を通わせることができ、一緒に笑ったことを私は決して忘れないでしょう。
日本で身振り手振りによる感情表現をしたことは、私に大きな気づきを与えてくれました。言葉による会話や学校の授業を

理解することができなくても、横にいることでその人の様々な面を理解することはできるのです。また、私たちには一人一人違いがありますが、理解するのが難しいほど違っているわけではありません。この旅行は、私がお互いの文化の重要性を理解するのにとても役立ちました。
明泉学園が日本で行っている教育を心から尊敬します。たくさんの人々が明泉をモデルとして世界のいろいろな場所に多様な文化を広げていってほしいです。学校だけでなく、お店やレストランなどあらゆる形で国際理解は深まると思います。
大きなショッピングモールや寺院、海に浮かぶ島々、个性的なお店に行き、学校での日常も体験できました。今回の特別な経験は日本でこそできたのであり、訪れたことのない他の場所で今度はどんな経験ができるのだろうと思い描くきっかけになりました。
ソフィア・リャオ (Sophia Liao)

4年磐梯キャンプに 韓国からの生徒が参加しました

フレンドクラブ4年の磐梯キャンプに、韓国でGrapeSEEDによる英語教育を受けている生徒9名が参加し、フレンドの生徒と英語で会話しながら活動しました。韓国から参加したキムさんと、パディを組んだ高森フレンドの吉川さんにキャンプの感想を聞いてみましたので紹介します。

Message from Ellie / 忘れられないキャンプの思い出

こんにちは！ 私はエリー・キムです。韓国にあるパンギョ小学校に通っています。
磐梯キャンプでは、お寿司や畳の部屋など、日本文化を体験しました。食事はみなおいしくて、フレンドクラブのKaren(吉川禮さん)やMelanie(粕谷笑愛さん)と一緒に、畳が敷かれた和室に寝ることができ、とても楽しかったです。Karenとはパディを組んで、キャンプの間ずっと一緒に活動しました。
ジャズ先生をはじめ、明泉の先生方や友達と、大きな小野川湖で生まれて初めてカヌーに乗ったり、友達とボートをこいだり、ウォーターパークで泳いだのも

とても楽しかったです。キャンプファイヤーやマシュマロを食べたこと、知っている歌は1曲だけでしたが、みんなと歌を歌ったことも忘れられない思い出です。中でもカヌーが一番の体験でした。
この機会をくれた先生方にとても感謝しています。このキャンプで私はこの上ない経験ができたので、次の機会があればぜひまた参加したいと思っています。GrapeSEEDで勉強している他のたくさんの友達がこのキャンプに参加できることを願っています！

※エリーさんはGrapeSEEDプログラムで約5年学んでいて、現在は韓国のGrapeSEED社が運営している公式オンライン教室で学習しています。授業に熱心に取り組み、REP学習の目標もきちんと達成していることから、担任の先生の推薦を受けてキャンプの参加者に選抜されたそうです。

高森フレンドクラブ4年 吉川 禮 (Karen)

磐梯キャンプに行って、いい経験をしました。特に、韓国から来たEllieと活動したことで英語を話す機会が増えて、英語が上達した気がしました。
初日のカヌーでは、コントロールが難しく前に進まなかったのですが、みんなで記念写真を撮りました。夜にはマシュマロを食べて、キャンプソングを歌いました。

2日目には、猪苗代湖で遊びました。その湖はとても広くて驚きました。そこでEllieとペアになって、イルカの浮き輪を借りて交換しながら遊びました。
Ellieからバスの中で韓国の梅干しのようなお菓子をもらったり、Ellieと友達になって韓国について知ることでもできたので、私はこのキャンプに参加してよかったと思いました。

私はサマー。7月30日生まれです！

今年春に丸山キャンパスに来たポニーのミトンが、夏休み中にメスの赤ちゃんを産みました。明泉でポニーが生まれるのは10数年ぶりです。
写真を撮った8月末にはお母さんとそれほど変わらない大きさになってびっくり。生まれたときも大きくて、成長も早い健康優良児です！

異色のマジシャンが誕生会で手品を披露 ～ポーリー氏家さん～

丸山幼稚園の7月の誕生会では、なんと元警察官の方が手品を披露してくださいました。ポーリー氏家こと氏家壮さんは、40年以上も宮城県警で勤務され、独学でマジックを学んだそうです。「ポーリー」の由来はもちろん「ポリス」。退職された今も、手品を通じて交通安全や防犯を呼びかけておられます。高森幼稚園の1月誕生会にも来てくださるので、どうぞ楽しみに！
子どもたちは、家族や先生以外の大人と交流することで社会性などたくさんのことを学びます。地域の方々がご自身の経験や特技を生かして園児に関わってくださるのは、とてもうれしいことです。

本物のハトまで出てきてビックリ！

子どもたちから大歓声が上がっていました

～MeySen is our second home～ 2年生親子キャンプに参加して

高橋 栄生 (丸山フレンド2年 Brook) さん保護者 隆行さん

私自身、2年生親子キャンプに参加させていただくのは今回で2回目でしたが、何度参加しても新しい発見と感動があり、娘と一緒に心から楽しむことができました。
娘はキャンプの前からキャンプファイヤーで歌う英語の歌を何度も口ずさんでおり、その姿からキャンプへの期待感と、英語をとても身近に感じている様子が伝わってきました。その光景を見守る私自身も、とてもうれしく、いとおしい気持ちになりました。
当日は、想像以上の水の量で繰り広げられた水のかけ合い、Tシャツ染め、迫力満点のキャンプファイヤーなど、子どもたちは夢中になって取り組み、その笑顔からは充実感があふれていました。特に、先生方やマザーの皆さんが全力で盛り上げてくださるおかげで、会場全体が笑顔とエネルギーに包まれていたのが印象的でした。
今回、娘にとっては「夏にしかできない特別な経験」を、英語が飛び交うインターナショナルな環境で大好きな先生に囲まれながら安心して楽しむことができ、本当に幸せな時間になったと感じています。このような機会を与えてくださったことに、心より感謝申し上げます。
最後に、この気持ちを一言で表すなら——“MeySen is our second home.”

